

「さぬきの森の会」 通信

平成 27 年 1 月 19 日
第 13 号

発行：国営讃岐まんのう公園
問い合わせ番号：0877-79-1807

平成 26 年度 第 4 回イベント開催される

12 月 7 日（日）に 10 名が、イベントに参加しました。

平成26年度の4回目のイベントが、12月7日（日）に開催されました。内容は、初めての企画で、鳥の巣箱を家族で作って、それを木もれ陽の森の樹木に実際に付けるというものでした。また、巣箱作りは、これも初めて天の広場のセンターハウスを使用しました。11月17日の第5回運営委員会で打合せを行いました。今回は、4組10名（大人4名、子供6名）の参加となりました。地元まんのう町や、丸亀市、高松市からおいでいただきました。特に、丸亀市からは2家族のご参加を、いただきました。

【それゆけ！きこり探検隊
鳥の巣箱作りと巣箱かけ（第4回）】

- ①ワークショップ「鳥の巣箱作り」
10：00～11：30
（センターハウス）
- ②実践！巣箱を付けよう
11：30～12：30
（木もれ陽の森）
- ③昼食会「あったかい汁」

1. ワークショップ「鳥の巣箱作り」

今回は、1度生態園で受付をして、自家用車で天の広場センターハウスに移動しました。

最初に、矢本先生の説明パネルを使った「鳥の巣」のお話です。

野鳥の大きさや生態、巣の特徴などを分かりやすく話してくれました。メジロ、エナガヒヨドリなどは、樹木の枝に巣を作ります。それぞれ好きな高さがあるようです。メジロやエナガは、コケ類などをクモの糸でつづって作ります。

ホオジロやウグイスは低木やササ、ススキの茂みに枯草を使って巣を作ります。ウグイスはよくホトトギスに托卵され、自分より大きいヒナを一生懸命

育てるそうです。木に穴（樹洞）を掘るのは、アオゲラとコゲラです。体の大きいアオゲラは生木の幹に、コゲラは枯れ枝や枯れ木に穴を掘るそうです。コゲラの巣の実物（自然生態園展示室で展示）を見せてくれました。木が割れて



矢本先生の「鳥の巣」のお話

樹洞の様子がよくわかり、子供達も近くに寄って興味深そうに見ていました。シジュウカラやヤマガラは、木の穴やキツツキの古巣、石垣の穴など、いろいろな穴を利用して巣を作ります。今回の巣箱はシジュウカラ、ヤマガラの使うものを作ることになりました。

続いて、中野先生の巣箱の作り方の説明です。まず、穴の開いた前板に側板の片方を釘で留めます。次に底板を付けて、側板の片方を取り付けます。そして、後板の上から4.5cmの位置に、今まで作ったものを取り付けます。屋根板を蝶番で留め屋根板が開かないように留め金を付けて完成です。釘を打つ際は、木が割れないように、事前にキリで穴をあけるよう指導がありました。



中野先生の巣箱の作り方の説明

それぞれの家族に、巣箱のキットが渡されました。スタッフが、各家族に付き指導します。前板に側板を取り付けますが、釘を打つ場所を位置出します。そして、その場所にキリで穴をあけます。それがすんだら、釘を打ち込んで留めます。最初は、キリや金槌の使い方もうまくできませんでしたが、だんだんと上手になっていきました。後板をつける頃にはもう慣れたものです。屋根板を蝶番で留め、最後の留め金を付けて完成です。それに、自分たちが作った印に、イラストや文字を思い思いに描いて出来上がりました。



前板の穴あけ



前板の釘打ち



蝶番の穴あけ



巣箱完成の記念写真

2. 実践！巣箱を付けよう

出来上がった巣箱を自家用車に積み、また自然生態園に戻ります。

今度は、作った巣箱を樹木に取り付けます。シイタケを育てている林の中でよさそうな樹木を、事前に榮川先生が選んでおいてくれました。家族ごとに樹木を選びます。榮川先生から、取り付ける高さは2m内外、巣箱を出入りする穴は北向きがよい、また、隣の巣が見えないように位置を調整するとよいなどのお話がありました。そして、みな条件が同じにならないよう、高さや穴な方向などをバラバラにすることになりました。

後板の4個の穴にシュロ縄を通します。まずは、子供たちが登って位置を決めます。こうがいい、ああがいいとスタッフの注文がつかます。子供たちが仮止めしたら、大人が固く締めて固定します。全部で4個の巣箱がつけました。シジュウカラ、ヤマガラなどの野鳥が使ってくれるようお願いして記念写真を取りました。



うまく縛ることができるかな



高い位置の取り付け



南側の出口です



巣箱設置の記念写真

2. 昼食会

巣箱を設置した場所がシイタケを栽培している所だったので、ホダ木を見るとシイタケが生えています。予定にはなかったシイタケの収穫体験ができました。ちょうどまんのう町老人クラブ婦人部の方が、生態園の厨房で汁を調理をしていたので、収穫したシイタケも汁の中に入れました。今日の汁はお団子の入った「団子汁」です。参加者、スタッフの皆さん、学習室の板の間で舌鼓を打ちながら昼食会をしました。



シイタケの収穫体験



調理中のまんのう町老人クラブ婦人部の皆さん



美味しい団子汁



昼食会の様子

3. アンケートの参加者の声

1) ワークショップ「鳥の巣箱作り」

- 幼児でも参加できるのでありがたいです。
- 子供たちも楽しかったようです。もちろん大人も楽しかったです。周りで見守ってくれていて適度に手を貸してくれるので助かりました。
- もう少し参加者が多ければもっと楽しかった。イベントのPRをもっと検討されたら。
- 木作業を一緒にすることがなかったので、親子共々良い経験ができました。
- 持って帰りたかった。(子供)

2) 実践！巣箱を付けよう

- 自ら設置できるので印象深いです。
- 自分が作ったものを設置できて満足したようです。楽しみです。また春に見に来ます。(もし、卵を産んでいたならお知らせしてくれたら嬉しい！！)
- 巣箱の高さや向きを決めた説明が分かりやすく良かったです。
- はしごがこわかった。(子供)

3) 昼食会

- 採取したキノコを食べられてよかったです。
- 寒い時期に温かいものが食べられるのはとてもありがたい。体が暖まりました。ありがとうございます！！
- 昼食会の内容について、もう少し詳しい事前説明があれば、もっと楽しかった。

4) 「さぬきの森」のイベントへのご要望・ご意見

- 引き続き、大人と子供と自然の中で体験できる企画を楽しみにしています。
- もう少し時間があれば「大鍋」もおもしろいかも。
- まき割をしてご飯を羽釜で炊く。流しうどん(夏)、バーベキュー(夏)など、用意から子供としたいです。大がかりな事なので。時間が合えば参加したいです。